

南小たば風通信 2019

令和元年9月24日 第18号

「厚沢部町立厚沢部小学校」公開研究会参加レポート 三上

9月10日（火）の午後より、厚沢部小学校の公開研究会に参加してきました。「プログラミング教育事業研究実践校」としての公開研も兼ねた大会でした。

日程

12:45	13:45	14:35	14:50	15:30	16:30
受付	公開授業①	休憩・移動	公開授業②	休憩・移動	開会式
13:00	13:50	14:40	15:25	16:15	16:40
			実践発表・協議説明	休憩	研究協議
					指導・助言
					開会式

公開授業

【公開授業①】

公開授業①は1年生の国語を、公開授業②は6年生の外国語を参観してきました。

1年 国語

「けんかした山」

授業者：西村昭彦

場面の様子を想像し、友達との交流を通じた深い学び！！

4年 総合的な学習の時間

「町の便利を調べよう」

授業者：土佐林洋介
竹中彩華

友達と協働し試行錯誤して課題解決！！（MESHを活用したプログラミング教育）

【公開授業②】

5年 算数

「分数と小数、整数の関係を調べよう」

授業者：細井敦（ジャンプ）

中田哉子（ステップ）

まとめまで30分の問題解決的学習で深い学びの実現！！

6年 外国語

「Unit 4 I like my town」

授業者：嶋中理恵
竹中彩華

外部人材：鈴木潤子

英語でコミュニケーション！！
（考えの表現と感想交流）

【研究主題】 深い学びを実現している子どもの育成

- ・知識を相互に関連づける授業づくりを通して
- ・問題を見だし、解決策を考える授業づくりを通して

《公開授業①》 1年生 国語「けんかした山」

◆研究内容：言葉による見方・考え方を働かせる授業

本時の目標は、「物語を読み直し、好きな場面を見つけ、想像を広げながら読む。」こと。

○各場面の教科書を大きく印刷したものを貼ってあり、これまでの学習を振り返りやすい掲示にな

っていました。

○自分が選んだ好きな場面を説明しやすいように、よく考えられたワークシートになっていました。

○各時間のめあてを一覧にしたふりかえりシートが用意されていました。「◎、○、△」の記号で単元の見通しをもたせるうえでも効果的に思いました。

○課題を早くやり終えても、静かに待つことができる子が多く感心させられました。普段の約束の徹底。

●ひとグループが6人編成だったので、少し多いように思いました。(発表が聞こえにくい子がいました。)

●中には何も書けない子もいたようだったので、何か手立てが必要だったようにも思いました。

《公開授業②》 6年生 外国語「Unit 4 I like my town」

◆研究内容：外国語によるコミュニケーションによる見方・考え方を働かせる授業

本時の目標は、「町について発表したり、感想を交流したりする。」こと。

○各時間の課題を一覧にしたふりかえりシートが用意されていました。「◎、○、△」の記号で振り返るとともに、「次の学習に生かすこと・疑問」を記すことができる欄も設けられていて効果的だなあと思いました。(単元の見通しをもつこともできて)

○町の「良いところ」「あるもの」「ないもの」「ほしいものと理由」について、一人ひとりとても上手にポスターにまとめられていました。

○ペアで交流した後、全体の前で・・・段階が踏まれていて安心して発表できた子が多いように思いました。

○外国語が堪能な講師の先生がいつも入ってくださるようで、いいなあと思いました。

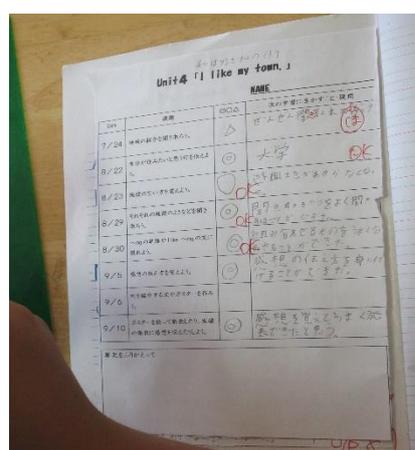
●素晴らしい授業でしたが、難しい単語などもたくさん出ていて(本当に指導計画にある時間だけでできたのかな?)と少し疑問を抱いてしまいました。



【ペアで交流の場面】



【全体の前での発表している場面】



【ふりかえりシート】

《実践発表・協議説明》 ★なんだか、いろいろと研究していて大変そうです。

・学校力に向上に関する総合実践事業については、厚沢部小学校の教頭先生から説明がありました。

・プログラミング教育事業研究実践校の取り組みについては、研究部長さん?から説明を受けました。

※別紙を参照してください。

《研究協議》 A～K までの 11 グループに分かれてスタート。(わずか3～4人でドキドキ・・・)

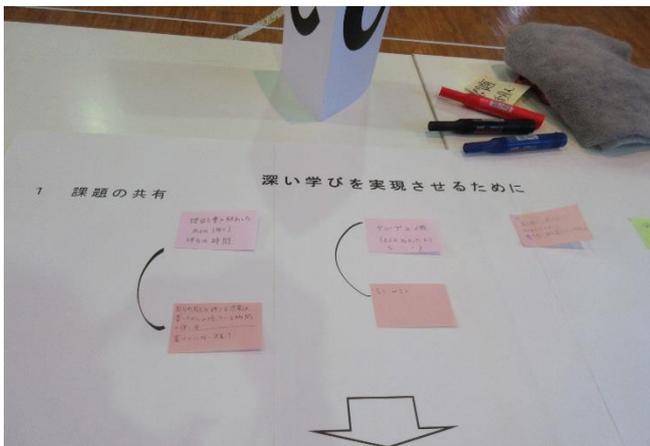
研究協議

ポスターセッション型研究協議

テーマ

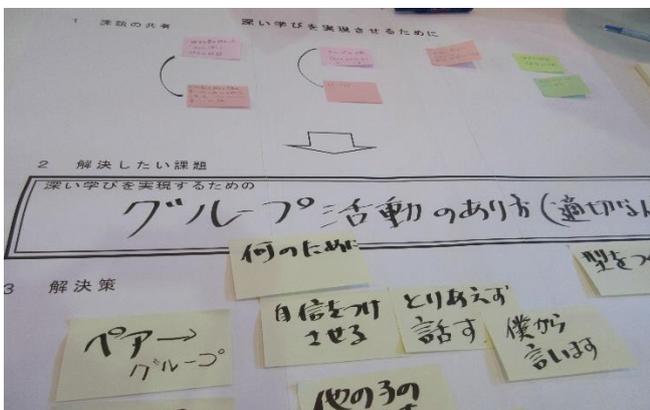
「深い学びの実現について」

今年度より行っている厚小独自の研究協議です。個人で出された課題からグループで解決したい課題を決定し、参加者同士で解決策を考えていく研究協議です。それぞれが興味のあるテーマを選び解決策を話し合うため、自分のニーズに合った話し合いができるようになっています。ご参加のみなさんが抱えている課題の解決への手助けとなればと考えています。参加したことで、少しでも、「よかった」と思ってもらえることを目的としています。



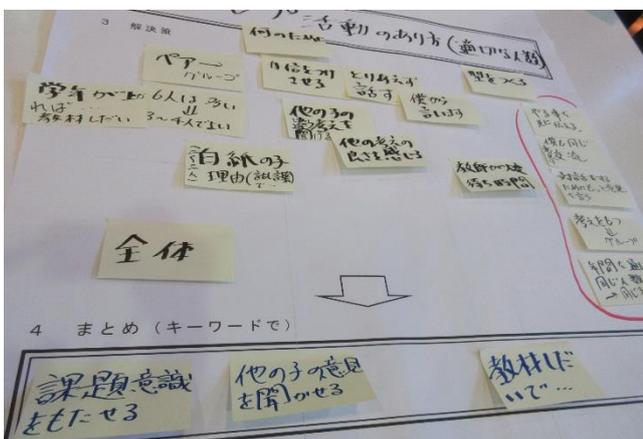
☆付箋に書いた課題を貼りだし課題を共有
◆グループ討議：解決したいテーマの決定

- ①課題の交流 (8分)
- ②テーマを決定 (2分)
- ③グループ内で解決策交流 (10分)



◆他のグループでの解決策交流 (8分×2回※移動1分)

- ①それぞれが解決したい・興味のあるテーマのグループへ移動する。
- ②それぞれのグループの課題解決をする。
※2回目は別のグループで移動する。



◆はじめのグループに戻りまとめ (8分)

- ①交流の中で出された解決策からグループのまとめを作る。
- ②キーワードでまとめる。



【各グループ 司会の先生が残り、集まった先生方からの意見や解決策を集約しながらシートに記入します。】

《指導・助言》 別紙参照

★見通しと振り返りの必要性

- ・振り返りには、「行為の後の振り返り」と「行為の中の振り返り」がある。
 - ・「行為の後の振り返り」は、習慣化することと、あった出来事や思ったことや感じたことだけではなく、その原因と対策まで言語化させることが大切である。⇒深い学びにつながっていく。
- ※出来事で終わってしまう× 深い学びにはつながらない。

《まとめ》

- ・振り返りの大切さを痛感できました。（どの教科でもしっかり振り返ることができるように！）
- ・充実した研究協議となるように工夫されていて、参考になりました。

※お忙しいところ、参加させていただきありがとうございました。